

# 文字摺通信

第99号  
2025年11月 1日  
発行:文字摺歴史文化社

令和6年現在、県内の養蚕農家は12軒だけになりました

## 二本松市6軒、川俣町4軒、福島市2軒

先日県庁に行って『ふくしまの蚕糸』をいただいてきました。手元に平成5年度版と令和6年度版がありますが、これを見ても蚕糸業の盛衰を感じます。つまり、平成5年度版は、福島県農政部蚕糸課が作成した96ページに及ぶ小冊子で、勿論製本した表紙のある立派なものです。それに対して令和6年度版は福島県農林水産部園芸課が作成した14ページのもので、担当の方（係もなく、専門員一人）が自らのパソコンからプリントアウトしてくださいました。

令和5年の福島県の繭生産量は6,831kgで全国3位です。群馬県の第一位は頷けます。しかし、以前は生産量をトンの単位を使っていましたのに、現在はkgになってしまいました。本県の最大生産量は昭和14年の17,524,590kgですからその割合は0.039%なのです。戦後のピークは昭和48年の12,570,600kgですがそこから少しずつ減少し、平成6年ごろから急激に落ち込みます。その様子は次ページの表を見てください。福島県の場合、その急落はちょっと極端です。現在、繭生産量第2位は栃木県ですが、平成5年に、養蚕農家数でみると、群馬県が8,070戸、福島県が5,360戸であるのに対して栃木県は620戸でした。繭生産量は福島県が2,116トンで、栃木県は397トンでした。それが逆転したのです。

養蚕農家数は、全県で12軒になりました。二本松市が6軒、川俣町が4軒、福島市が2軒です。福島市の2軒は旧飯野町の農家です。つまり、旧信夫郡はゼロになってしまったのです。旧地域名でいえば、安達郡が6軒、伊達郡が6軒です。伊達郡も東根郷（梁川・保原・靈山）と西根郷（国見・桑折・伊達）が蚕種業と養蚕業、小手郷（月館・川俣・飯野）は織物業が盛んでしたが、その小手郷に6軒、養蚕農家が残っているのです。



全国繭生産量ランキング(R5)

順	県名	上繭量	割合
1	群馬県	14, 673kg	38.10%
2	栃木県	6, 842kg	17.80%
3	福島県	6, 831kg	17.70%
4	愛媛県	2, 203kg	5.70%
5	埼玉県	1,959kg	5.10%
6	宮城県	1,378kg	3.60%
7	山形県	1,232kg	3.20%
8	千葉県	784kg	2.00%
	その他の県	2,591kg	6.70%
	全国計	38,473kg	100%